

inkumi 広島

VOL. 468
令和7年8月

発行／広島県印刷工業組合

発行人／中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



令和7年度上期中国地区印刷協議会開催

中国地区協議会 中本俊之会長挨拶

全印工連 瀬田章弘会長挨拶

全印工連の事業説明 長島文雄事務局長

各分科会報告

第2回常任理事会・第2回拡大理事会開催

第1回常設委員会合同開催

備後支部だより

事務局だより

夏の風物詩、風鈴で涼しさを感じたい!

暑い夏真っ只中ですが、昔から日本人は夏を少しでも涼しく過ごそうと、工夫をしてきました。その1つが風鈴です。風鈴の起源は日本ではなく、一説によると中国であるとされています。もとは鐘製で出来ていて、竹林に吊り下げて、音の鳴り方によって物事の吉兆を占うための道具だったそうです。これが仏教と同時に日本に入って来て、寺院の屋根に吊るされ、いわゆる魔除けとして、その音の聞こえる範囲に住む人々には災いが起こらないと信じられていたそうです。写真のようなガラス製の風鈴になったのは江戸時代末期で、「江戸風鈴」と名付けられました。写真は帰郷した際に、近所の八幡宮で撮影した1枚です。色鮮やかな風鈴が吊り下げられており、わずかな涼を感じたひと時でした。広島では速谷神社が風鈴飾りをしているので行かれて涼を感じてみてはいかがでしょうか?

令和7年度上期 中国地区印刷協議会開催 ～ 鳥取市で開催 ～

令和7年度上期中国地区印刷協議会が6月20日(金)午後1時30分より、鳥取市の「鳥取シティホテル」で開催され、全印工連から、瀬田章弘会長、関野里美常務理事、長島文雄事務局長が、また、中国五県の各工組から理事長、役員など総勢36名が出席した。

始めに、地元鳥取県の田村理事長が、「中地協はいろいろな情報が得られ中国地方の多くの組合員の方と情報交換ができ、その情報をもとにどんな展開をしようかということを考える場として絶好の機会となると考えています。今日一日しっかり協議できる元気な一日になればいいと思います。どうぞよろしくお願い致します」と開会の挨拶をされた。



- ・本会議の前に 理事長会を開催
(全印工連・各理事長・各委員長等14名参加)

会議次第

1. 開会の挨拶 鳥取県工組理事長 田村 仁美
2. 中国地区印刷協議会会長挨拶 中本 俊之
3. 全印工連会長挨拶 瀬田 章弘
4. 全印工連事業概要説明 事務局長 長島 文雄
5. 令和7年度全印工連テーマ説明 瀬田 章弘

議事

- ・令和6年度収支報告並びに令和7年度の予算(案)の件
報告のとおり承認
 - ・令和7年度下期中国地区印刷協議会開催の件
令和8年2月24日(火)広島市で開催を決定
 - ・分科会討議
 - ・分科会報告
- 以上を午後5時30分に終了した。



【中本俊之中国地区印刷協議会会長挨拶】

昨日と今日、戦後80年という節目の年に広島に天皇皇后両陛下がご来広されておられます。平和に対する思いを強く思いながら被爆80年という年を国内外に発信していければと思います。今日はレジメに官公需とペーパーサミットの報告対応と書いていますが、入札制度の改革や価格転嫁に関しては我々組合にとって一番大切なことだと思っています。そしてペーパーサミットに関しては



紙のポジティブキャンペーンというものを来年、全印工連がイベントを開催する予定です。もう1回我々も紙というものに対して向き合い、そういう機会を作らなければならないのかと思っています。最後になりましたが、紙の市場が縮小していく非常に厳しい状況がまだまだ続いていきますが、我々はこの組合という組織をしっかり活用して皆と繋がっていく、仲間と繋がっていくことでこの厳しい情勢を乗り越えていければと思っています。今日一日長丁場ですけれども、皆さんにとって有意義な時間になることを祈念しまして挨拶とさせていただきます。

【瀬田章弘全印工連会長挨拶】

最近いろいろ勉強させていただく中で、「運の科学」というのがあって、運のいい人っていうのがありますが、それって科学的に証明できるよっていうのを学ばさせていただきました。これは京都大学の藤井聡先生が書かれているのですが、運のいい人というのは2軸あって1つは時間軸で短期的なものと長期的なことがあって、短期的なことは、今すぐの金儲



けです。今日、明日の金儲け、自分だけ金儲けができればいいやと考える人と、長期的というのは社会のことを考えて、どうせ自分も死ぬから死んだ後にいい社会を残していこうと、長期的な視野を持っている生き方の人、もう一つは関係性ということで、自分だけ良くなればいい、1人で頑張る、仲間なんかいない、俺が良くなればいいという人と自分も良くなりたいけど仲間も一緒に良くなるという多くの方と関係性を持つとうという人、つまり長期的な時間軸で考える人と関係性が多い人ほど運がいいのだということが科学的に証明されたということです。生物学的にもベストセラー

の東大の小林先生が「なぜヒトだけが幸せになれないのか」という本を書いています。生物学的にも立証されており、我々人類は数万年以上、集団の中に群れて集団生活してきました。このDNAが続いていて、これに適応できる人間だけが進化の過程で生き残っている。生物学的にはそういうことらしいです。その中において関係性って大事なんですね。自分だけいいやってやつは群れの中で生き残っていけないので、仲間のことを考える人の方が群れから尊重されて一緒に活躍して、長いスパンで物事を考えながら生きている人の方が進化の過程において生き残っていきます。生物学的にもそういう考え方思考を持っている人の方が幸せになり生き残っていくようです。例えば現代人は資本主義経済の中で経済競争が激しいので、そんなこと言てられないよ、皆と関わりたいけどそんな時間はないよってなってしまうので、我々が何万年の間に受け継いだDNAとは逆のことをやっているの、どこかで破綻して、自分の中でストレスになったり自分の周りに悪いことを起こしたりするので、こういうことは大事だなと思っています。

こういう時代だからこそ組合活動は大事だなと思います。皆さん自分が良くなり、自分の会社、自分のご家族、自分の社員さんのために、大事な人のために会社を経営されてると思います。これはもちろん大事なことですけど、そのためには仲間と一緒にいろいろなことをやって、皆も良くなってもらって、自分もよくなりたいよね。という方々が今日来られている方々かなと思いますし、印刷組合としても短期的な利益の追求はもちろんですが、でももっと先々のことも考えましょうよということで、いろいろな施策を打ち出しています。そこで学んでもらって一緒にやっていきましょうということが組合だと思います。1社で出来ることは1社でやってもらうしかないのですが、皆で工



夫しながらやっていくのが組合で、これをしっかりやっていくのが全印工連だと思っています。

今、全印工連は非常に力を持っています。私が力を持っているわけではなく、皆さんがいい意味で正しく群れて下さっているの、いろんな方面に抑えが効くようになってきたのですね。これは歴代の元会長の時代から十数年と積み上げられてきたもので、私のような若造が例えば経産省とか、一昨日は外務省に行ってきました。外務省に行くと政務官とか課長補佐とかにオープンカウンター保守の問題で話し合ってきたのですが、こんなことはなかなか出来なかったことです。経産省もちゃんと聞くことを聴きだしてくれています。「そうかあ」ということで。今日も皆さんの手元に通知文の写しを配布させていただいております。こういうことが出来るのが全印工連になってきたのです。是非皆さんの力を貸していただけて一緒に、皆さんの会社も良くなる、全体も良くなるということをやりたいと願っています。なので、なんなりと私の方に、こういうことに困っていると、こういうことやりたいんだということなどの、ご要望を出していただけて私も皆さんと一緒に皆さんの力を借りて、なんか世の中おかしいよな、こういう取引はおかしいよなとか、というようなことを打破していきたいと願っておりますので是非そういう意味でも、この地区協議会が大事です。この数時間ですけれどもも有意義な時間を一緒に過ごしていただけて、情報をしっかり受け止めていただけて、また明日からの経営にお役立ていただければと思います。または是非力をお借りしたいと願っております。ありがとうございました。

【全印工連の事業概要説明 長島事務局長】

はじめに事業計画ですが、7年度の基本方針に沿って「価値協創実現への事業実装」「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」を目指す

テーマに、諸事業を展開させていただきます。その他各委員会の事業計画等については資料の委員会別の事業計画をご参照いただければと思います。次に7年度全印工連の組織・委員会機構です。6年度から変更の

あしたへチャレンジ! Go! Go! Go!

新時代に 魔球は 秘密の いかがですか

コンピュータと人間の共存を目指します。
中川印刷株式会社

広島市西区横川町2丁目8番5号 〒733-0011
TEL (082) 291-3841 FAX (082) 295-0868
E-mail: info@nakagawa-print.jp

想像力、創造力。

今、印刷において真価が問われるのが、
想像【imagination】です。
中国新聞印刷は、新聞印刷・商業印刷の
幅広い分野で、数多くの実績を重ねてきました。
その結果が、クオリティの高い
創造【creation】につながっているのです。

中国新聞印刷株式會社

〒739-0422 広島県廿日市市大野387番地3
TEL. 0829-50-2838 FAX. 0829-56-2292
<https://www.chuin.co.jp>

あった組織のみを説明させていただきます。三役に直轄する官公需対策委員会の中に「官公需課題解決PT」を設置いたしました。同じく三役会直轄組織として紙のポジティブキャンペーンの推進を目的に「紙育実行委員会」、そして今年は全印工連が70周年を迎えますので「創立70周年実行委員会」を設置いたしました。



まず官公需関連の話ですが、はじめに官公需・民間における取引仕様書の雛形の作成です。全印工連では全印政連と連携して官公需の課題解決に向けた活動を行っていますが、官公需の仕様書に著作権の無償譲渡ですとか著作権人格権の不行使を求める記載がいまだに多くあります。適切な知的財産権の取り扱いが一向に進んでいない現状があります。これらの官公需の課題解決に向け全印工連では「官公需課題解決PT」を設置し、地方自治体で仕様書の上に位置する印刷製本製造請負契約約款を作成し、国の自治体に利用してもらうことを計画し既に完成間近となっております。内容も官公需に大変詳しい委員の皆さんの他に弁護士の方にもご協力いただきほぼ出来上がっております。中小企業庁、公正取引委員会の監修をいただきお墨付きの約款作成を進めているところです。官公需だけでなく、民間取引におけるモデル契約書として約款及び契約書のガイド（解説文）も中小企業庁、公正取引委員会に監修いただき、こちらも組合の皆さまに活用いただけるよう準備を進めております。夏には皆さんの方にお届けできと思いますので是非ご活用の方よろしくをお願いします。

次に総務省・経産省は官公需発注に関する文書を地方自治体に対して発出を致します。本日お配りした資料で「官公需印刷物の入札・契約について（通知）」という資料でこれは5月21日に自民党中小印刷関連振興議員連盟の総会で決議されたものです。「1. 適切な予定価格の作成」「2. 最低制限価格制度や低入札価格調査制度の導入」「3. 入札参加資格における地域要件の導入」「4. 著作権や印刷データの財産的価値への配慮」「5. コンテンツ版バイ・ドール契約の活用」など、について地方自治体の印刷物発注の担当者に理解を促すものです。この通知文イメージは経産省、総務省は発出に向けて最終の調整を行っている段階で今後若干の修正はなされる可能性はありますが、遅くとも7月初旬までには地方自治体に向けて発出される予定です。

それに対する全印工連の動きですが、経産省・総務省からの文書発出を受けて、全印工連でも「官公需印刷物の入札・契約に関する要望書」を発出いたします。内容は予定価格の設定は実勢価格を適切に反映すること、最低制限価格制度、低入札価格調査制度の導入実施、入札参加資格としての地域要件の導入、知的財産権の帰属先は原則受注者側とする他、知的財産権の適切な取り扱いを求めるものです。官公需の課題を抱えてい

る工組におかれましてはこの文書を地方自治体に持参されご活用いただきたいと思います。また地方自治体での検討結果の回答を求めています。これは経産省から助言をいただいたもので、回答を求めることにより地方自治体も動かざる負えないという状況になるということです。この文書におきましては発出を待ってから全印工連から工組宛てにお送りさせていただきます。



次は各県工組へのお願いです。経産省からはこの他に官公需対策では印刷業者が自治体に改善を訴えかけていくことは寛容であるとの助言をいただいているので、対応が遅れている自治体に対しては文書を持って工組から自治体に直接申し入れることにより改善のスピードが上がるのが期待されるので各県工組で引き続いての官公需改善活動が重要になります。官公需委員会未設置の工組の場合には早急な委員会の立ち上げまたは官公需担当役員の任命をお願いします。さらに官公需取引改善には国会議員、都道府県、市町村議員との連携が大変有効であることから政治連盟印刷議連をまだ設置されていない工組については創設に向けた活動を活発化いただきますようお願い致します。参考までに資料集に官公需委員会、政治連盟の設置状況、各県の状況をまとめましたのでご覧ください。

続いて各事業の交付金・還付金です。令和6年度における年会費に占める各事業交付金還付金の割合がまともになりましたのでご紹介させていただきます。全印工連の各事業につきましては全印工連から各県工組の方に加入状況に応じて還付金をお支払いしております。各事業において加入数が多いことによって県工組への還付金が多くなるという形です。全印工連はもちろん組合ですから会費をいただきますが、還付金がそれを上回っている工組がいくつかあります。上回っているところは、全印工連がいただいている会費よりも還付している金額の方が多い、逆に言うと事業に参加している組合員さんが多いという工組になります。全印工連の場合には、全印工連、各県工組、組合員全てがWIN-WINになる形で事業を進めていますので各事業におかれましては、加入状況についてご協力をお願いします。

最後に、下請法の関係です。先ほどご説明いたしました自民党中小印刷産業振興議員連盟の幹事長である伊藤達也衆議院議員にさまざまな中小企業ならではの課題についてご相談させていただいておりますが、伊藤先生が中心となり私共の意見を取り入れていただき

5月に下請法が改正されました。主な改正内容をご紹介します。まず一方的な価格決定の禁止です。発注側は協議に応じず必要な説明や情報提供をしないまま、一方的に価格を決める行為の禁止です。これにより中小企業がコスト上昇分を適切に価格に転嫁できる環境が整いました。次に手形払い等の禁止です。2026年までに約束手形での支払いを原則禁止し、現金化できない支払い手段を制限されます。これにより資金繰りの安定が期待されます。次の適用基準の見直しは今まで資本金の基準により親事業者に判断されましたの

で発注者・受注者に承知をさせて下請法を逃れるという行為が行われていましたが、改正により資本金基準に加え従業員数も新たな基準となり多くの中小企業が保護対象となります。次に監督執行体制の強化は違反企業への指導や助言・行政機関の連携強化など実効性のある管理体制が整備されました。このほかにも下請けという用語にはいい印象がないため、下請事業者は「中小受託事業者」、親事業者は「委託事業者」に用語が変更されました。施行日は2026(令和8)年1月1日です。以上が私からの事業概況説明です。

【各分科会の報告】

《理事長会》

中本俊之会長(広島)から、各県工組の近況報告と事業計画について説明。

【鳥取】「困ってる大作戦」を毎月開催。売り上げ1.3倍アップ研究会を開催。

【島根】官公需の関係で県と毎年会議開催。価格転嫁について今まで通り県と話し合いながら対応している。セミナーの開催。

【山口】セミナー開催。富澤委員長の「印刷会社が知っておくべきAI」という講演を実施。来月は全印工連から田畠さんの「印刷業界におけるデザイン経営の重要性とその実践方法について」というセミナーを開催予定。研修はオフセット検定を実施する予定(7/13予定)、断裁機(シャー)の研修会(労働基準協会)を来年か再来年に開催予定。

【岡山】官公需対策については県議会・市議会に対して

対応。セミナーは社労士をいれて開催。岡山県工組70周年なので岡山出身の世界的なデザイナーである原研哉さんをお招きしてセミナーを予定。

【広島】価格転嫁、価格交渉に関して価格の支援ツールを使いながら一定の価格転嫁を支援していく。ローカルゼブラの取り組み事例を研究する。今回19回目になる夢メッセを10/24、25開催予定。

【中国全体】官公需対策として新たに鳥取県工組と広島県工組と山口県工組に委員会または担当者または窓口を作り、委員会の情報を県工組に下ろしていく。

《経営革新マーケティング委員会》

宇都宮公徳委員長(広島)から、以下の報告・周知があった。①シン勝ち残り合宿ゼミ参加者選定の依頼。②各県工組にコンテンツセミナーをどのように開催しているかを確認③BRAIN導入促進について情報共有④Adobeライセンスプログラムを周知。



静電気除去装置の

春日電機株式会社

広島営業所

静電気測定機器・帯電装置・コロナ処理機

〒733-0005 広島市西区三滝町22-14
TEL (082) 509-5190
FAX (082) 509-5191



株式会社 小森コーポレーション

本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋3-11-1
TEL.03-5608-7803~8(営業直通)

九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区上牟田1-15-27
TEL.092-433-7611

<http://www.komori.com>

《サステナビリティ・CSR委員会》

竹田圭佐委員長（山口）から、以下の【報告事項】項目の共有があった。

1. サステナビリティ・CSR 経営の推進
 - (1) CSR・MUD 普及のためのセミナー開催
 - (2) 全印工連 CSR 認定制度の普及拡大
 - (3) 第 9 回 MUD コンペティションへの作品募集
 - (4) 冊子「INFORMATION DESIGN」の販売
2. 人的資本経営関連情報の提供
 - (1) 労働衛生基準の変更
(便所 / 発汗作業に関する措置)
 - (2) 令和 7 年度雇用保険料率の案内
 - (3) 育児休業給付を受給中に離職した場合の取り扱い変更及び通知
3. 脱炭素・環境対応事業の推進
 - (1) CO₂ 排出量算定調査結果
 - (2) 2025 特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会
 - (3) GP（グリーンプリンティング）認定制度
 - (4) 環境推進工場登録制度
 - (5) ISO14001 取得支援事業



《組織活性化委員会》

田尾直也委員長（広島）から、以下の報告・依頼事項の共有があった。

1. 組合員の加入表彰 鳥取工組が 1 社の組合員増
 2. 各共済制度の加入状況
ライフピアの団体保険のメリットにより福利厚生の一部として活用し従業員満足、経営者のリスクヘッジとして活用いただいている事例が増えてきている。
 3. 令和 7 年度共済キャンペーン重点工組
中国地区は広島県と島根県が重点工組になっている
 4. 事業承継・事業承継支援事業
- 【依頼事項】として以下の項目の説明があった。



1. ライフピアの支払い実例と組合員数に対する加入率 32%の達成目標の周知
2. 組合員数の純増数
3. 全印工連 70 周年の式典参加協力
4. J-CONNECT の周知協力
5. 新しい共済制度の検討 サイバーリスク保険

《教育研修委員会》

三浦信彦委員長（岡山）から、【報告事項】として、令和 6 年度技能検定プリプレス職種（DTP 作業）の合格者数。

【依頼事項】として①令和 7 年度印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験の実施②令和 7 年度技能検定プリプレス職種（DTP 作業）の実施③教育動画サイト「印カレ～全印工連の学んで得する TV～」の周知・啓発④組合支援セミナーの周知・啓発

【協議事項】に関して①印刷営業講座の各地区での開催②技能検定プリプレス職種（DTP 作業）



《官公需対策委員会》

渡部康行委員長（島根）から、以下の報告があった。

1. 「印刷物発注と知的財産権」パンフレットの増刷
令和 5 年 7 月にパンフレットを作り改定して増刷
2. 令和 7 年度組合支援セミナー
官公需関連のセミナーを 2 つ計画しています。
・山形県工組理事長の大風委員長が講師として「官公需対策について」
・和歌山県の白子さんが「知的財産のセミナー」
3. 全国委員会の開催
2 年に 1 回全国委員会を開催 10 月の 70 周年記念式典の前日または 2 月の page に合わせて開催予定
4. 令和 8 年度政策要望
いろいろな団体を通じて国に要望を出している
5. 少額随意契約の基準額等について
随意契約の基準額が引き上げになったという話です。
都道府県 250 万円 ➡ 400 万円
各市町村 130 万円 ➡ 200 万円



「役員会レポート」 第2回常任理事会・第2回拡大理事会・常設委員会を開催

7月10日(水)午後1時から常任理事会、午後2時10分から拡大理事会が広島印刷会館会議室で開催され、常任理事会には理事長、副理事長、常任理事8名が、続いて行なわれた拡大理事会には理事、監事14名が加わり22名が出席し開催された。

始めに、中本理事長から「今日は上期の地区協が先月鳥取で行われてそれを踏まえての拡大理事会・常設委員会となります。地区協で瀬田会長が来られている話されましたが、価格の適正化ということを皆で何とかしようよと盛んに言われました。きちんとした裏付けのもと価格をきちんとした形にしないと太刀打ちいなくなるということを言われています。官公需の対策委員会を各県工組に作ってもらいたいという話があり、広島工組も対策委員会がなかったので、まずは窓口を作ろうということで大東常任理事に窓口になっていただくという話をしております。官公需だけでなく民間もですが、契約書とか予算見積りとかいろんな問題を今一度整理して、何をすれば価格改定に結びついていくのかということを工組、全印工連、日印、日紙商、メーカー、ベンダーが一緒になって我々業界として次につながる展開を瀬田会長を筆頭に皆さんと

ともにやっていきたいと取り組んでいます。それと10月10日の金曜日に全印工連の70周年記念式典が東京会館で開催されます。場所も東京駅から歩いて10分程度のところで近いですし10年に1回しかない式典ですので、全印工連の周年事業というものがどんなものなのかを体験するために参加いただければ」という挨拶があり、その後、議事に入った。

【議題】

- (1) 令和7年度上期中国地区印刷協議会報告について
・各委員長から報告
- (2) 第19回2025印刷産業夢メッセ開催について
・2日目の基調講演とソリューションセミナー
・広告の申し込み状況について
- (3) 組合員異動報告
- (4) その他
・7年度の行事予定表(現行)配布



【各委員会開催】 第1回 常設委員会合同開催 ～各委員の仲間32名が集まり開催～

令和7年度上期中国地区印刷協議会(6月20日鳥取市開催)を受け、本年度第1回目の各委員会が7月10日(水)午後3時30分から、広島印刷会館会議室において開催された。この委員会は、所属支部間を越えた組合員同志が、意見を交わし親睦を図り、交友を増やし信頼を増す場であり、この厳しい経済情勢の中ど

のようにして乗り切るか、また、お互いの業態変革は如何にしているかなど、相互啓発を目的としたもので、まさに組合の原点です。各委員会の内容等は、前ページにて掲載済み、内容は同じなのでそちらを参考としてください。



木戸・市川・前田・児玉・田中・中本・小林・國保・林(敬称略)



田村・当田・田尾・青木・瀬尾(寿)・大東・→
→花田・大倉・永田・須川・濱崎(敬称略)



島・田・小・田・上・重・後・藤(敬称略)



増田・吉岡・坂井・ハイマン→
→瀬尾(淳)・宮崎・高山・堀内(敬称略)



印刷会社のお助け寺
POD出力サービス

いんさつ駆込寺

株式会社 **ゴプス**

<https://gops.co.jp>

〒733-0833 広島市西区商工センター1-4-29
TEL 082-279-9400 FAX 082-279-9402

あらゆる製本機材の御用命は
有限会社 **楠川研磨所**

勝田製断裁機
丸山製針金綴機
此花マーブル貼機
福田刃物断裁包丁

広島市南区宇品東2-8-27
TEL (082) 251-6761
FAX (082) 251-7575

【備後支部だより】

7月親睦例会

備後支部の7月例会は、2年ぶりの釣り＆懇親例会として開催しました。2025年7月5日(土)、備後支部価値組委員会として2年ぶり2回目の「釣り」例会。モンデン化成の田頭社長に何から何までお世話になりました。

メンバーの中にも毎週のように釣りに行く方もいらっしゃるれば、今まで釣りをしたことのないメンバーもいる。だけど今回、田頭社長を中心に「釣りの未経験者や初心者でも楽しめる釣り大会」を企画してくだ

さいました。備後支部メンバー、その社員さん、船を出してくださったお友だちの方たちでの楽しい釣り例会になりました。戻ってきたときの皆さんの「楽しかったー!」という笑顔が何より嬉しかった。釣りに夢になって釣果の写真があまりないのですが、それもまた笑える要素になる。帰港して、皆さんの釣った魚をすぐに調理してもらっての懇親会もとても盛り上がりました。時にはこういう例会も良いものですね。釣りだけでなく、親睦例会はまた企画したいと思っています。皆さんお楽しみにしてくださいね! ありがとうございました。



事務局だより

◎ 組合のうごき

7月	10日	常任理事会・拡大理事会 常設合同委員会	印刷会館
	11日	常任役員会	東京
	17日	SOPTEC東北 ~18日	仙台
	23日	夢メッセ三役会	印刷会館
	28日	教育研修委員会	Web会議
	29日	官公需対策委員会事後報告会	Web会議
8月	30日	産業戦略デザイン室	東京
	23日	全青協正副議長会	岩手
	27日	常任・支部長会 夢メッセ報道発表、出展説明会	ガーデンパレス
	28日	組織活性化委員会	東京

【支部の名称変更】

今年度より福山支部と府中支部が統合して「備後支部」に名称変更しました。

【広島県印刷工業組合のHPの活用及び現行化】

工組HPの「組合員リンク」に現在、自社HPをリンクされている組合員が一部であり、掲載情報も古いため、今回組合員全体に照会をかけ情報発信の活性化に取り組みました。新規掲載会社は9社で全体では33社に掲載いただきましたので、ご覧いただければ幸いです。(ただし、2社は自社HPが無いため会社名とPR記載のみ)



(有)石井製本所

〒734-0025 広島市南区東本浦町15番8号

TEL (082) 282-5027

FAX (082) 282-5270

無線トジ

上製本

手帳

中トジ

カレンダー

各種折り